

# 令和7年度 埼玉県連合教育研究会 事務処理要綱

## 1 本会の教科等研究団体及び埼玉大学教育学部附属小・中学校 【21団体】

- ① 埼玉県国語教育研究会      ② 埼玉県書写教育研究会      ③ 埼玉県社会科教育研究会
- ④ 埼玉県算数数学教育研究会      ⑤ 埼玉県理科教育研究会      ⑥ 埼玉県音楽教育連盟
- ⑦ 埼玉県美術教育連盟      ⑧ 埼玉県保健体育研究会      ⑨ 埼玉県英語教育研究会
- ⑩ 埼玉県道徳教育研究会      ⑪ 埼玉県特別活動研究会      ⑫ 埼玉県進路指導・キャリア教育研究会
- ⑬ 埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会      ⑭ 埼玉県教育心理・教育相談研究会
- ⑮ 埼玉県特別支援教育研究会      ⑯ 埼玉県学校図書館協議会      ⑰ 埼玉県中学校技術・家庭科研究会
- ⑱ 埼玉県小学校家庭科教育研究会      ⑲ 埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会
- ⑳ 埼玉大学教育学部附属小学校      ㉑ 埼玉大学教育学部附属中学校

## 2 教科等研究団体等は、本会より予算の配分を受けるものとする。【会費・負担金等による】

- ① 会計処理上は、「配分金」の名称を用いてください。
- ② 配分金額は、「令和7年度教科等研究団体への配分金一覧表」のとおりです。
- ③ 全国大会開催団体には40万円、関東大会開催団体には30万円を追加配分します。
  - ア 本部事務局では、全国大会及び関東大会の開催地に関する情報を収集しています。
  - イ 旅費特別配当を実施する上での基礎資料ともなりますので、各教科等研究団体は、開催地が決定次第、本部事務局にご連絡ください。
  - ウ 1年前までに報告が無い場合は、加算額が支給されない場合があります。
  - エ 別紙「全国・関東地区教育研究大会予定表」を参照してください。
- 令和7年度予定団体 関東大会＝ 理科・音楽 【2団体】

## 3 教科等研究団体等は、年度末に決算、予算、事業内容・来年度事業内容案を本会に報告する。

【令和8年3月3日（火）・4日（水）・6日（金）の会計監査会において】

- ① 令和7年度会計収支決算報告書
- ② 令和8年度会計収支予算報告書
- ③ 令和7年度事業の実績概要・令和8年度事業計画書 【様式1】 ※ A4判1枚に変更

☛ 「研究集録付研究論文集」の原稿内容との整合性を!



7 令和7年度予算編成用の支出科目の分類基準について

研 究 大 会 費 (a)	教育研究団体等が、一つの組織体として共同研究などの研究結果を公開発表す 目的で開催するもので、内容としては研究発表及び研究討論などです。	
	謝 金 (a)-(1)	①会員以外の者に委嘱した講師及び助言者に支払う謝礼 ②会員以外の者に委嘱した会場の整理人等に支払う謝礼 ③会員以外の者に支払われる礼金
	旅 費 (a)-(2)	①会員以外の者に委嘱した講師及び助言者の出張旅費 ②研究団体の役員（会長・副会長・理事等）の出張旅費 ③研究発表を行う役員、指導助言者・司会者等の出張旅費 （本会会則「旅費支給規程（評議員会資料 P. 26）」による）
	借料・損料 (a)-(3)	①大会会場使用料（当日以外の会議室利用等は含まない。） ②マイク等録音装置、照明器具、映写機、ピアノ等の使用料 ③バス使用料（大会参加者送迎用）
	資 料 費 (a)-(4)	①大会開催案内状、実施要綱及び研究集録の印刷製本費 ②全国大会・関東大会等参加のための資料代 ③その他、大会開催に必要な資料・封筒等の作成に要する印刷 消耗品
	通信運搬費 (a)-(5)	①大会に必要な印刷物等を送付する郵便料及び運搬費 ②事務連絡のための郵便料及び運搬費、電話料
	I C T運用費 (a)-(6)	①研究大会をリモートやオンラインで開催するための経費 ②ホームページ等による研究成果等を公表するための経費
研 究 調 査 費 (b)	事業内容の中核をなす事業で、研究に必要な各種の実態調査、実験及び資料、 文献の調査研究などです。	
	謝 金 (b)-(1)	①会員以外の者に委嘱した講師及び助言者に支払う謝礼 ②研究に協力した者に支払う謝礼（原稿執筆料を含む） （研究委嘱の場合に該当する）
	旅 費 (b)-(2)	①会員以外の者に委嘱した講師及び助言者の出張旅費 ②教育研究団体の指定研究者の研究調査のための出張旅費 ③全国・関東大会等への一般参加者のための出張旅費 （本会会則「旅費支給規程（評議員会資料 P. 26）」による）
	借料・損料 (b)-(3)	①協議会等会場使用料（研究大会の規模ではない会議等） ②マイク等録音装置、照明器具、映写機、ピアノ等の使用料
	資 料 費 (b)-(4)	①アンケート、実態調査及びこれに伴う要項等の印刷費 ②研究のために必要な書籍等の購入費（図書カード等を含む） ③調査研究成果をまとめたものを刊行するための印刷費 （研究集録・会報・会誌等） ④研究調査に必要な資料・封筒等の作成に要する印刷消耗品
	通信運搬費 (b)-(5)	①調査研究に必要な印刷物を送付するための郵便料及び運搬 費 ②調査研究に関する事務連絡のための郵便料・運搬費、電話料
	I C T運用費 (b)-(6)	①調査研究や会議等リモートやオンラインで行うための 経費（ソフトウェアやアプリ等の購入、更新経費等を含む） ②ホームページ開設・更新・運用等のための経費 インク代
賃 金 (b)-(7)	①会員以外の者に委嘱し調査研究に必要な集計及び整理など を行う場合に支払われる礼金（テーブル起こし等）	

研究 成果 刊 行 費 (c)	研究発表論文や研究調査の成果（集録・会報等）を刊行するものです。	
	資 料 費 (c)-(1)	①印刷製本代（印刷代、用紙代、製本代を含む）
	通信運搬費 (c)-(2)	②前記資料費で作成した刊行物を送付するための郵便料及び運搬費（荷造り等を含む）

① 「補助対象経費」(a)・(b)・(c) について 【研究し成果等を公表するための経費】

教科等研究団体等においては、補助対象となる経費の使途を明確にする必要があります。

※ 上記の支出科目は「補助対象経費」(a)・(b)・(c)です。

② 「非補助対象経費」の「需用費」(a)-(7)・(b)-(8)・(c)-(3) について 【研究等付随経費】

「補助対象経費」の中には、補助対象とならない経費（「非補助対象経費」）もあり、「需用費」が該当します。 代表的なものは、次のようなものです。

- (a) **研究大会費** 「需用費」＝ 大会に係る会議費、大会に係る当日以外の会議室使用料  
(a)-(7) ・看板料 ・生花代 ・消耗品 等
- (b) **調査研究費** 「需用費」＝ 研究委員会などに係る会議費・会場使用料・原稿執筆料  
(b)-(8) ・消耗品 ・全国関東大会への参加費（会議費） 等
- (c) **研究成果刊行費** 「需用費」＝ 刊行物の編集等に係る会議費・原稿執筆料・消耗品 等  
(c)-(3)

③ 「補助事業以外の経費（その他の経費）」(d)-(1)(2)(3)(4)について

教科等研究団体等においては、「補助事業に要する経費以外の経費」があります。

教科等研究団体等の運営上必要な経費として、以下の4つの支出科目を設定しています。

- (1) **会議費** 会の運営に係るもので、正副会長会・理事会・監査会等に要する経費
- (2) **事務費** 事務消耗品・郵便料・封筒（封筒に印刷する場合も含む）
- (3) **雑費** 他の経費に属さないもの（他の経費では不適切なもの）  
(ア) 臨時的に発生するもの (イ) 金額的に小さいもの (ウ) 振込手数料  
(エ) 新たに支出科目を設ける必要のないもの  
(オ) 全国大会・関東大会等への参加のための分担金
- (4) **予備費** 現実の予算執行においては、必ずしも当初の予算どおりにはいかず、支出科目によっては多少の過不足を生じるものです。  
(ア) 予備費は、予算不足に対応するために計上するものです。  
(イ) 予備費から直接支出はしません。 【※ 決算額は「0円」と記載】  
(ウ) 他の支出科目の不足分（赤字）を実質的に予備費が補っていると考えます。

令和8年2月上旬に発送予定です。

埼玉連教発第〇〇号

令和8年2月〇日

教科等研究団体等団体長 } 様  
教科等研究団体等事務局長 }

埼玉県連合教育研究会  
会長 浅見 正史

### 令和7年度教科等研究団体等会計監査会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので担当者の派遣についてご配慮くださるようお願い申し上げます。

#### 記

- 1 日 時 令和8年3月3日(火) 午後2時00分～4時30分  
令和8年3月4日(水) 午後2時00分～4時30分  
令和8年3月6日(金) 午後2時00分～4時30分
- 2 場 所 さいたま市立大宮東中学校 4階 被服室
- 3 持参するもの ① 令和7年度分  
出納簿・入金伝票・出金伝票・預金通帳  
会計収支決算報告書(代表者職印)・事業の実績概要(代表者職印)  
② 令和8年度分  
事業計画(代表者職印)・会計収支予算報告書(代表者職印)  
③ USBメモリー (上記①・②のデータを保存したUSBメモリー)

※ 会計収支決算報告書、事業の実績概要・事業計画、会計収支予算報告書については、お配りしたUSBフラッシュメモリーのテンプレートをご活用ください。

※ USBフラッシュメモリーには、上記①・②のデータを保存し、持参してください。

- 4 監査日・教科等研究団体名 (日程は、予定ですので、変更依頼についてご連絡ください。)  
3月3日(火) 国語、書写、社会科、算数数学、理科、音楽、美術、保健体育  
3月4日(水) 英語、道徳、特別活動、進路・キャリア、視聴覚、心理・相談、特別支援  
3月6日(金) 学校図書館、中学技・家、小学家庭、生活・総合、埼玉大附属小、埼玉大附属中
- 5 留意事項  
(1) 持参する用紙及びUSBフラッシュメモリーは、6月中旬に郵送等をしたものです。  
(2) 「令和8年度会計収支予算報告書」は、令和8年度予算配分金(別紙)の額で「令和8年度会計収支予算報告書」を作成してください。  
(3) 「令和7年度会計収支決算報告書」と「令和8年度会計収支予算報告書」は、事前に確認をしますので、監査日の3日前までに、必ず事務局の下記メール宛にご送信願います。  
(4) 日程等のご都合が悪い場合は、必ず事前に事務局に、連絡をお願いいたします。

〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内1-9-9  
埼玉県連合教育研究会事務局 渡辺 俊行  
(さいたま市立大宮東中学校内)  
TEL 048(641)0808 FAX 048(645)1922  
E-mail [saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp](mailto:saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp)

## 令和7年度予算配分金振込予定等

団体番号	研究団体名	埼玉大会	令和7年度 予算額	繰越金	第1期振込予定 7月末日	第2期振込予定 10月末日	埼玉大会	令和8年度 予算額(案)
1	国語		640,000	36	200,000	440,000		640,000
2	書写		580,000	370	0	580,000		580,000
3	社会		640,000	217	0	640,000		640,000
4	算数・数学		640,000	350	0	640,000		640,000
5	理科	関東	940,000	0	940,000	0	関東	940,000
6	音楽	関東	940,000	45	940,000	0		640,000
7	美術		640,000	567	0	640,000		640,000
8	保健体育		600,000	410	600,000	0		600,000
9	英語		640,000	594	0	640,000		640,000
10	道徳		640,000	219	300,000	340,000		640,000
11	特別活動		640,000	670	0	640,000		640,000
12	進路・キャリア		600,000	0	600,000	0		600,000
13	学校視聴覚		540,000	760	0	540,000		540,000
14	心理・相談		577,000	3,139	0	577,000		580,000
15	特別支援		515,000	65,081	515,000	0		580,000
16	学校図書館		640,000	143	0	640,000		640,000
17	中学校技・家		580,000	583	0	580,000	関東	880,000
18	小学校家庭		500,000	143	200,000	300,000		500,000
19	生活・総合		640,000	750	0	640,000		640,000
20	埼大附属小		410,000	499	0	410,000		410,000
21	埼大附属中		410,000	910	410,000	0		410,000
合計		2	12,952,000	75,486	4,705,000	8,247,000	0	13,020,000

↑繰越金1,000円以上を考慮した実際の配分金額

○ 追加配分金: 令和7年度金額 全国大会(40万円) 関東大会(30万円)

<b>◆ 平成7年度</b>	○ 全国大会 : なし	
追加配分金	○ 関東大会 : 理科【小】(30万円)、音楽(30万円)	<b>計 60万円</b>

<b>◆ 平成8年度</b>	○ 全国大会 : なし	
追加配分金	○ 関東大会 : 理科【中】、中学校技術・家庭科	<b>計 60万円</b>

# 記入例

令和7年度

△△教科研究団体

会計収支決算報告書

**収入の部**

※ 2月15日以降に、通帳の記帳

科 目	7年度予算額	7年度決算額	比較増減	摘 要
1 配 分 金	1,040,000	1,040,000	0	
2 繰 越 金	234	234	0	
3 雑 収 入	121	117	△ 4	利息
合 計	1,040,355	1,040,351	△ 4	

**支出の部**

※ 支出した場合、「摘要」を必ず、記入してください。

科 目	7年度予算額	7年度決算額	比較増減	摘 要
(a) 研究大会費	734,000	736,000	△ 2,000	
(1) 謝 金	100,000	100,000	0	全国大会講師等謝金
(2) 旅 費	0	0	0	
(3) 借 料・損 料	370,000	365,000	5,000	全国大会会場費 付帯施設費
(4) 資 料 費	194,000	204,000	△ 10,000	全国大会誌印刷費
(5) 通 信 運 搬 費	30,000	30,000	0	全国大会誌発送費
(6) I C T 運 用 費	40,000	37,000	3,000	Zoomアカウント取得費
(7) 需 用 費	0	0	0	
(b) 研究調査費	92,000	90,000	2,000	
(1) 謝 金	0	0	0	
(2) 旅 費	0	0	0	
(3) 借 料・損 料	0	0	0	
(4) 資 料 費	68,000	68,000	0	会報印刷費
(5) 通 信 運 搬 費	4,000	4,000	0	会報発送費
(6) I C T 運 用 費	20,000	18,000	2,000	インターネット接続費・セキュリティ費
(7) 賃 金	0	0	0	
(8) 需 用 費	0	0	0	
(c) 研究成果刊行	207,000	212,000	△ 5,000	
(1) 資 料 費	193,000	193,000	0	集録No.45印刷費
(2) 通 信 運 搬 費	14,000	19,000	△ 5,000	集録No.45発送費
(3) 需 用 費	0	0	0	
(d) その他の経費	7,355	2,212	5,143	
(1) 会 議 費	0	0	0	
(2) 事 務 費	2,500	2,212	288	印刷用紙代金
(3) 雑 費	0	0	0	
(4) 予 備 費	4,855	0	4,855	
合 計	1,040,355	1,040,212	143	

黄色のセルに数字を打ち込んでください。

差引残高 収入決算額総計 **1,040,351** 円 - 支出決算額総計 **1,040,212** 円 = **139** 円

差引残高 **139** 円 は、令和8年度に繰り越します。

令和8年 月 日

××△△研究団团长 氏名

印

会  
長  
印

※ 令和812年度予算「繰越金」に計

作成者氏名

学校名

電話 ( )

# 記入例

## 令和8年度 ××△△教科研究団体 会計収支予算報告書 (案)

### 収入の部

※ 令和7年度繰越

	8年度予算額	7年度予算額	比較増減	摘 要
1 配 分 金	640,000	1,010,000	△ 370,000	
2 繰 越 金	139	234	△ 95	
3 雑 収 入	117	121	△ 4	利息
合 計	640,256	1,010,355	△ 370,099	

※ 本年度の利息とほぼ同額

※ 予算額を入れた場合、「摘要」を必ず、記入してください

### 支出の部

	8年度予算額	7年度予算額	比較増減	摘 要
(a) 研究大会費	308,000	704,000	△ 396,000	
(1) 謝 金	70,000	100,000	△ 30,000	研究委嘱校講師
(2) 旅 費	0	0	0	
(3) 借料・損料	54,000	380,000	△ 326,000	会場費(支部活動)
(4) 資料費	50,000	194,000	△ 144,000	大会用資料費
(5) 通信運搬費	14,000	30,000	△ 16,000	大会資料等郵送費
(6) ICT運用費	120,000	0	120,000	オンライン会議アカウント取得
(7) 需用費	0	0	0	
(b) 研究調査費	117,000	92,000	25,000	
(1) 謝 金	0	0	0	
(2) 旅 費	0	0	0	
(3) 借料・損料	2,000	0	2,000	研修会会場費
(4) 資料費	90,000	88,000	2,000	会 報
(5) 通信運搬費	5,000	4,000	1,000	会 報 発 送
(6) ICT運用費	20,000	0	20,000	リモート会議用ソフトウェア
(7) 賃 金	0	0	0	
(8) 需用費	0	0	0	
(c) 研究成果刊行	209,000	207,000	2,000	
(1) 資料費	195,000	193,000	2,000	研究集録 No. 46
(2) 通信運搬費	14,000	14,000	0	研究集録 No. 46 発送
(3) 需用費	0	0	0	
(d) その他の経費	6,256	7,355	△ 1,099	
(1) 会議費	0	0	0	
(2) 事務費	3,000	2,500	500	印刷用紙
(3) 雑 費	0	0	0	
(4) 予備費	3,256	4,855	△ 1,599	
合 計	640,256	1,010,355	△ 370,099	

※ 収入と支出は同じ額です!

令和8年 月 日

××△△研究団体長 氏名

印

作成者氏名

学校名

電話 (       )

# 入金伝票

(収入伺)

No. 〇〇

起案	令和 年 月 日	収入処理年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日
決裁	令和 年 月 日			※↑通帳に記載された日付
会長	印	部会長	会計	印
科目	会費・国庫補助金・配分金・雑収入・その他			
金額 〇〇〇,〇〇〇円				
摘要 ※ 令和〇〇年度 教科等配分金				
その他の参考事項				
※ 繰越金がある場合は、No.1 令和7年4月1日 科目 その他 摘要 繰越金 となります。				
※ 令和7年度教科等研究団体配分金は、No.2 となります。				

# 出 金 伝 票

(支出伺)

No. \_\_\_\_\_

↑※通し番号

起 案	令和 年 月 日	支 出 処 理 年 月 日		令和〇〇年〇〇月〇〇日 ※↑通帳に記載された日付	
決 裁	令和 年 月 日				
会 長	(印)	部 会 長		会 計	(印)
科 目	研究大会費 研究調査費・研究成果刊行費・配分金・補助外経費 ←※該当科目を で囲む				
	謝金・旅費・借料損料費・資料費・通信運搬費・ICT運用費・賃金・需用費 会議費・事務費・雑費				
金 額 000,000円					
摘 要 (品目・規格・数量・単価)					
※ できるだけ詳細に記入					
上記のとおり請求いたします					
令和 年 月 日		住 所			
		氏 名	(印)		
上記のとおり受領いたしました					
令和 年 月 日		住 所			
		氏 名	領収書裏面添付 (印)		

※ 領収書がない場合 (講師謝金・お車代 等)  
担当者 (会長等) 記名 印章の押印でよい。

収 入  
印 紙

# 《 金 銭 出 納 帳 記 載 例 》

金 銭 出 納 帳			No.〇〇																		
年 月 日	科 目	摘 要	入金伝票の番号				出金伝票の番号				差引残高										
			収入金額		支払金額		収入金額		支払金額		差引残高										
4	1	繰越金		7	8	0	0	1						7	8	0	0				
6	5	事務費 現金出納帳								6	8	0	1			7	1	2	0		
	5	事務費 ゴム印								9	6	0	2			6	1	6	0		
	11	事務費 郵送料(切手)								1	6	0	3			4	5	6	0		
	29	配分金	6	4	0	0	0	0	2						6	4	4	5	6	0	
8	8	資料費 a 研究大会開催通知印刷								1	6	4	0	4		6	2	8	1	6	0
	9	通・運 a 開催通知送料								1	3	6	2	5		6	1	4	5	4	0
	10	利息					2	3							6	1	4	5	4	2	
10	15	謝金 a 研究大会講師謝礼								5	0	0	0	6		5	6	4	5	4	2
	15	借・損 a 研究大会会場借用料								4	2	8	0	7		5	2	1	7	4	2
	25	資料費 a 研究大会資料製本代								3	6	0	0	8		4	8	5	7	4	2
11	7	借・損 a 支部研修会会場費								2	4	6	0	9		4	6	1	1	4	2
1	28	ICT運用費b USBメモリー								2	6	0	10		4	5	8	5	4	2	
2	4	謝金 a 支部研修会講師謝礼								2	0	0	0	11		4	3	8	5	4	2
	10	利息					3	4							4	3	8	5	4	5	
	20	資料費 c 研究集録No.45印刷								3	1	5	6	12		1	2	2	9	4	5
	22	通・運 c 研究集録 送料								1	3	8	0	13		1	0	9	1	4	5
	26	資料費 b 会報印刷								1	0	1	8	14			7	3	4	5	
	27	通 運 b 会報送料								4	0	0	15			3	3	4	5		
3	1	事務費 ファイル 外2件								2	1	4	5	16		1	2	0	0		
		合 計	6	4	7	8	0	5		6	4	6	6	0	5		1	2	0	0	

※ 線は赤色で引く

※ 増減のマイナス (雑収入 △995)

※ 差引残高のマイナス (研究大会資料費 △2,400 事務費 △4,185)

※ 帳簿には、朱書きとする (その際、△は不要)

\*\*\*\*\*

※ 以下、抜粋にて参考データとします。

No.〇〇

## 【収入の部】

### 1 繰越金

年 月 日	科 目	摘 要	予算額	収入金額	増 減										
		予 算 額	7	8	0	0									
	1	令和4年度より繰越		7	8	0	0								
		合 計	7	8	0	0		7	8	0	0				0

入金伝票の番号

## 2 配分金

年 月 日	科目	摘要	予算額	収入金額	増減
		予算額	6400000		
6 29	2	配分金		6400000	
		合計	6400000	6400000	0

## 3 雑収入

年 月 日	科目	摘要	予算額	収入金額	増減
		予算額	10000		
8 10	3	利息		2	
2 10	4	利息		3	
		合計	10000	5	△ 995

## 【支出の部】

## (a)－(1) 研究大会費 謝金

年 月 日	科目	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
		予算額	700000		700000
10 15	6	研究大会講師謝礼		500000	200000
2 4	11	支部研修会講師謝礼		200000	0
		合計	700000	700000	0

出金伝票の番号

## (a)－(3) 研究大会費 借料 損料

年 月 日	科目	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
		予算額	700000		700000
10 15	7	研究大会会場借用料		428000	272000
11 7	9	支部研修会会場費		246000	26000
		合計	700000	674000	26000

出金伝票の番号

No.〇〇

## (a) - (4) 研究大会費 資料費

年 月 日	科目	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
		予算額	50000		50000
8 8	4	研究大会開催通知印刷		16400	33600
10 25	8	研究大会資料製本代		36000	△ 2400
		合計	50000	52400	△ 2400

出金伝票の番号

No.〇〇

## (a) - (5) 研究大会費 通信運搬費

年 月 日	科目	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
		予算額	14000		14000
8 9	5	研究大会開催通知送料		13620	380
		合計	14000	13620	380

出金伝票の番号

No.〇〇

## (b) - (3) 研究調査費・資料費

年 月 日	科目	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
		予算額	102000		102000
2 26	14	会報印刷		101800	200
		合計	102000	101800	200

出金伝票の番号

No.〇〇

## (b) - (5) 研究調査費 ICT運用費

年 月 日	科目	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
		予算額	4000		4000
1 28	10	USBメモリー		2600	1400
		合計	4000	2600	1400

10出金伝票の番号

No.〇〇

## (c) - (1) 研究成果刊行費 資料費

年 月 日	科目	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
		予算額	316000		316000
2	20	12 研究集録No.46印刷		315600	400
		合計	316000	315600	400

出金伝票の番号

No.〇〇

## (c) - (2) 研究成果刊行費 通信運搬費

年 月 日	科目	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
		予算額	14000		14000
2	22	13 研究集録送料		13800	200
		合計	14000	13800	200

出金伝票の番号

No.〇〇

## (d) - (2) 事務費

年 月 日	科目	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
		予算額	3800		3800
6	5	1 現金出納帳		680	
		2 ゴム印		960	2160
		3 郵送料(切手)		1600	560
		10 電卓		2600	△ 2040
2	22	16 ファイル外2件		2145	△ 4185
		合計	3800	7985	△ 4185

出金伝票の番号

No.〇〇

## (d) - (4) 予備費

年 月 日	科目	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
		予算額	5000		5000
		合計	5000	0	5000

【※ 様式1】 令和7年度事業の実績概要・令和8年度事業計画（案）

□ 研究団体名【 \_\_\_\_\_ 】 □ 研究団体代表者氏名【 1 \_\_\_\_\_ 】  
 □ 作成者 職・氏名【 \_\_\_\_\_ ． \_\_\_\_\_ 】 所属校名【 \_\_\_\_\_ 学校】

**I 令和7年度事業の実績概要**

1 研究大会

年月日(曜)	場所・会場	内 容	参加者数	指導者・講演者職名等
R7. ( )	・	・		
	・	・		
	・			

2 研究調査

年月日(曜)	場所・会場	内 容	参加者数	指導者・講演者職名等
R7.	・			
	・			

3 研究成果刊行・電子データ発信

刊 行 物 名	規格 (判・頁)	発行部数	頒布先・電子データ発信・HP 掲載 等

**II 令和8年度事業計画（案）**

1 研究大会

年月日(曜)	場所・会場	内 容	参加者数	指導者・講演者職名等
R8. ( )	・	・		
	・	・		
	・	・		

2 研究調査

年月日(曜)	場所・会場	内 容	参加者数	指導者・講演者職名等
R . ( )	・	・		
	・			

3 研究成果刊行・電子データ発信

刊 行 物 名	規格 (判・頁)	発行部数	頒布先・電子データ発信・HP 掲載 等

【※記入例】

令和7年度事業の実績概要・令和8年度事業計画（案）

□ 研究団体名【 】 □ 研究団体代表者氏名【 】

□ 作成者 職・氏名【 ・ 】 所属校名【 学校】

**I 令和7年度事業の実績概要**

1 研究大会

年月日(曜)	場所・会場	内 容	参加者数	指導者・講演者職名等
R7. 12. 12(金)	・大宮ソニックシティ	・埼玉県音楽教育連盟県有委嘱校発表		文科省初等中等教育局教育課程教科 調査官 ●●●●氏
	・県民活動総合教育 センター	・		埼玉大学教育学部
	・オンライン開催			

2 研究調査

年月日(曜)	場所・会場	内 容	参加者数	指導者・講演者職名等
R7. 7. 22(水)	・サンデン化学 アリーナ	令和7年度総会兼第1回理事研究協議会	100	文科省初等中等教育局教育課程調査 官 ●●●●氏
	・埼大教育学部附属特別支援 学校併設特別支援教育臨床 研究センター			

3 研究成果刊行・電子データ発信

刊 行 物 名	規格 (判・頁)	発行部数	頒布先・電子データ発信・HP掲載 等
研究集録	A 4判 120頁	0	ホームページ掲載

**II 令和8年度事業計画（案）**

1 研究大会

年月日(曜)	場所・会場	内 容	参加者数	指導者・講演者職名等
R7. 12. 12(金)	・大宮ソニックシティ	・埼玉県音楽教育連盟県有委嘱校発表		文科省初等中等教育局教育課程教科 調査官 ●●●●氏
	・県民活動総合教育 センター	・		埼玉大学教育学部
	・オンライン開催			

2 研究調査

年月日(曜)	場所・会場	内 容	参加者数	指導者・講演者職名等
R8. 12. 22(水)	・サンデン化学 アリーナ	令和7年度総会兼第1回理事研究協議会	58	文科省初等中等教育局教育課程調査 官 ●●●●氏
	・埼大教育学部附属特別支援 学校併設特別支援教育臨床 研究センター			

3 研究成果刊行・電子データ発信

刊 行 物 名	規格 (判・頁)	発行部数	頒布先・電子データ発信・HP掲載 等
会報	A 4判 8頁	200	市町村教委・県教委・埼連教・

令和7年度以降の全国・関東地区教育研究大会（埼玉大会）の開催予定

- (1) 追加配分金の予算編成に必要となる重要な予定となります。  
 (2) 変更等がある場合は、早めに事務局にご連絡ください。

小・中 学校別	全国大会（埼玉大会） 【追加配分金 40万円】		関東大会（埼玉大会） 【追加配分金 30万円】	
	小学校	中学校	小学校	中学校
7年度 全国0 関東2			⑤ 理科 ⑥ 音楽	⑥ 音楽
8年度 全国0 関東2				⑤ 理科 ⑰ 中技術・家庭
9年度 全国0 関東0				
10年度 全国1 関東2		③ 社会科	⑨ 英語 ⑬ 学校視聴覚	⑨ 英語 ⑬ 学校視聴覚
11年度 全国0 関東4			④算数・数学 ⑩ 道徳 ⑮ 特別支援 ⑱ 小学校家庭科	④ 算数・数学 ⑮ 特別支援
12年度 全国0 関東2				① 国語 ⑩ 道徳

【令和6年7月12日（金）現在】

連絡先 ☎ 080-1157-5347（直通）

☎ 048-641-0808（大宮東中）

# 令和7年度旅費特別配当実施要領

## 1 旅費特別配当

教科等研究団体に対し、出張旅費の特別配当を実施する。

## 2 対象用務

特別配当の対象となる用務は、全国大会及び関東地区大会を原則とする。

## 3 特別配当の対象となる教科等の研究団体

次年度に、埼玉県で全国大会または関東大会を開催（主管）する教科等研究団体（隔年で開催される場合は、2年後に開催（主管）する教科等研究団体）

## 4 特別配当の額

全国大会は「6万円」、関東大会は「3万円」を限度とする。

## 5 出張旅費

この特別配当に該当する出張旅費については、所属校の県費旅費を調整する。

## 6 事務手続き等

### (1) 特別配当（旅費）を申請する場合の提出書類

- 出張前
  - ① 旅費特別配当申請書 【別紙1】
  - ② 研究大会開催要項（通知）
- 出張後
  - ① 旅費振込口座届出書 【別紙2】
  - ② 出張報告書兼旅費請求書 【別紙3】
  - ③ 旅費請求書（県費旅費用）

### (2) 特別配当（旅費）を申請しない場合

※ 事前に本研究会事務局に連絡を入れてください。

## 7 旅費特別配当研究団体一覧（予定）

【※ 令和7年5月7日（水）現在】

派遣年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
全国大会			③社会科	
関東大会	⑤理科(中)派遣無		⑨英 語	④算数数学
				⑩道徳（小）
	⑰中技術家庭科		⑬学校視聴覚	⑮特別支援
				⑱小家庭科
埼玉大会 開催年度	令和8年度 開催団体	令和9年度 開催団体	令和10年度 開催団体	令和11年度 開催団体

## 旅費特別配当申請書

令和 年 月 日

埼玉県連合教育研究会長 様

研究団体名 \_\_\_\_\_

団体長名 \_\_\_\_\_ 印

来年度、埼玉大会を開催するための旅費の特別配当を下記により申請いたします。

記

配当区分	・全国大会（6万円） ・関東大会（3万円） ※ いずれかを○で囲む		
大会正式名称			
大会日程	令和 年 月 日（ ）～ 月 日（ ）		
大会開催地			
参加予定者	_____ 名 （記入欄不足の場合は、別紙添付する。）		
氏名	研究会での役職名	学校名	参加日程
旅費特別配当 取扱責任者	氏名 _____ 職名 _____ TEL _____ 学校名 _____		

## ※ 留意事項

- (1) 申請する「研究大会開催要項」を1部添付してください。
- (2) 大会開催日の1ヶ月前までに、事務局に提出してください。
- (3) 参加日程の記入例 → 「2泊3日」・「日帰り2日」・「1日」等

【別紙2】

# 旅費振込口座届出書

令和 年 月 日

埼玉県連合教育研究会長 様

研究団体名 \_\_\_\_\_

団体長名 \_\_\_\_\_ 印

旅費振込口座について下記のとおり報告します。

記

金融機関	金融機関名						店名	
預金種目								
口座番号								右詰で記入
フリガナ								
口座名義								

## 1 留意事項

- (1) 指定する口座は、次のいずれかを報告してください。(※ 正確にお書きください。)
  - ① 研究団体で使用している口座
  - ② 参加者の代表者の口座
- (2) 当該口座の通帳のコピーを添付してください。
  - ・支店名・口座番号・口座名義：カタカナのわかるページのコピー（A4判縦）
- (3) 特別配当を申請しない場合は、提出する必要はありません。

## 2 旅費特別配当取扱責任者名等（問い合わせ先）

氏名	職名	勤務先	学校名	電話番号

## 出張旅費報告兼請求書

令和 年 月 日

埼玉県連合教育研究会長 様

研究団体名 \_\_\_\_\_

団体長名 \_\_\_\_\_ 印

都道府県大会への参加に係る大会報告及び出張旅費を請求いたします。  
記

配 当 区 分	・全国大会（6万円） ・関東大会（3万円） （○で囲む）		
大会正式名称			
大会日程	令和 年 月 日（ ）～ 月 日（ ）		
大会開催地			
参加予定者	_____ 名 （記入欄不足の場合は、別紙添付する。）		
氏 名	研究会での役職名	請 求 金 額	学 校 名
合 計			
<u>大会報告について</u>			
_____			
_____			
_____			
_____			
_____			

## ※ 留意事項

- (1) 個人別の「旅費請求書」を添付してください。
- (2) 出張終了後速やかに、事務局に提出してください。

# 「会報第 78 号」・「研究集録付研究論文集」 の原稿執筆及び原稿データのご送信のお願い

## I 「会報第 78 号」の原稿内容について

本年度の「研究主題」・「研究内容」を記載してください。「研究内容」については、貴研究団体の総会資料の事業計画（案）に基づき記載をお願いします。※ 全国・関東ブロック大会の準備等

## II 「研究集録付研究論文集」の書式の統一について

### 1 執筆要項のご確認を（特に留意いただきたい事項）

#### (1) 文章表現

- ① なるべく、箇条書きを活用してください。【※ 本年度は、難しいそうですね。】
- ② 行事開催期日が分かる場合は、曜日を記入してください。例＝6月23日 (月)

#### (2) 文字・記号

- ① 用語や送り仮名等は、学習指導要領解説〇〇編や「埼玉県教育課程編成要領」等に準じて標記してください。
- ② 数字の桁数は、数字1桁＝1字分、数字2～3桁＝2字分、数字4桁・5桁＝3字分として数えます。

例＝「2」「9」「平成7年」、2桁の例「29」「第34回」 ㊦ 半角

4桁以上の数字にはカンマ「、」を付けてください。

例＝「30,326人」、「1,004,000円」

- ③ 指導者等の敬称等の表記 例＝ 〇〇大学教育学部 教授 〇〇 〇〇 氏

#### (3) 見出し

- 「研究集録付研究論文集」の原稿の1ページ目は、「No. 教科等名」及び「教科等研究団体名」で1行目から、5行分とってご記入ください。

5行分 { **【例】 11 特別活動**  
埼玉県特別活動研究会

#### (4) 項目の細別

- 次のような順序を用いてください。

I II III → 1 2 3 → (1)(2)(3) → ① ② ③ → アイウ

#### (5) 文字数等

- ① 「会報第 78 号」原稿の文字数 横 25 字×縦 14 行 (350 字) 以内
- ② 「研究集録付研究論文集」原稿の文字数 横 24 字×縦 46 行×2 段組×4 ページ  
※ 協議会や研修会等の写真や参考となる図表等を掲載していただき、できる限り 4 ページ目に余白ができないようにしてください。 ※写真には、説明を付けてください。
- ③ 本会のホームページに、過去 13 年間分の「会報」、過去 9 年間分の「研究集録付研究論文集」が掲載されていますので、是非、参考にしてください。





◆ 入力済データ

1 会計関係

【8ファイル】

- (1) 埼玉県連合教育研究会事務処理要綱 (P.1~4)
- (2) 令和7年度収支決算報告書 (P.7)
- (3) 令和8年度収支予算報告書 (P.8)
- (4) 入金伝票 (P.9)
- (5) 出金伝票 (P.10)
- (6) 出納帳記載例 (P.11~P.14)
- (7) 配分金振込口座届出書 (P.27) 7月17日報告期限
- (8) 令和6年度会計監査会指摘事項 (P.28)

2 実績概要・事業計画 等

【4ファイル】

- (9) 令和7年度事業の実績概要・令和8年度事業計画(案) (P.15)
- (10) 旅費特別配当実施要項 (P.17~P.20)
- (11) 全国・関東大会後援申請について (P.23)

(12) 全国・関東大会開催都道府県報告 (P.26) 7月10日報告期限

※ (9)と(10)のデータの提出日：令和7年3月3日(火)～6日(金)  
会計監査会当日、USBに各データを入れてご持参ください。

※ (7)と(12)の報告は、別紙の用紙をご利用ください。

埼玉県連合教育研究会所属  
各教科等研究団体長 様

埼玉県立総合教育センター所長  
(公印省略)

### 貴研究団体刊行物の寄贈について（依頼）

当教育センターの事業につきましては、日頃格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、当教育センター教育資料室では、県教育活動の進展に役立てるため、教育に関する各種資料を収集し、教職員をはじめ関係者が利用できるようにしております。

つきましては、貴研究団体で新たに作成した資料がありましたら、下記のとおり御恵贈くださるようお願い申し上げます。

なお、すでにお送りいただいている場合は不要です。

#### 記

1 お送りいただきたい部数 1部

2 送付先

埼玉県立総合教育センター 教育資料室  
〒361-0021 行田市富士見町 2-24

3 所蔵の確認

教育資料室の所蔵状況は、インターネット上で確認することができます。

・総合教育センターホームページ>教育資料室>バナー「蔵書検索」

(<http://www.lib-finder.net/s-center/servlet/Index?findtype=1>)

(担当)

教育資料担当 小林 山口

〒361-0021 行田市富士見町 2-24

TEL (048) 556-3487 (直通)

FAX (048) 556-3396 (代表)

e-mail p7412217@pref.saitama.lg.jp

# 【FAX 送信用紙】

令和7年\_\_月\_\_日

埼玉県連合教育研究会  
事務局 渡辺 俊行 宛  
【FAX 番号 048-645-1922】

団体名 埼玉県  
事務局長名 \_\_\_\_\_

## 全国・関東地区教育研究大会の開催都道府県の報告

標記の件について、来年度以降の本研究団体に係る開催県を報告いたします。

### 記

#### 1 大会開催都道府県予定表

研究団体名 (正式名称)			〔 〕						
和暦年度			令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度
開催 県名	全国 大会	小学校							
		中学校							
	関東 地区 大会	小学校							
		中学校							

#### 2 提出期限

令和7年7月10日(木)までに、ご報告をお願いします。 ※ 報告期間が短いです。

#### 3 留意事項

- (1) 埼玉県主催に限らず、来年度からの研究大会開催都道府県名を分かる範囲でご記入ください。
- (2) 開催未定の場合は「未定」、該当する大会がない場合、または加盟していない場合は「無」と記入してください。
- (3) 「加算配分金」及び「旅費特別補助金」の予算措置のための調査ですので、提出されませんと加算配分金及び旅費特別補助金が配当等できませんので、必ずご提出ください。

#### 4 提出先

埼玉県連合教育研究会 渡辺 俊行  
〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-9-9 さいたま市立大宮東中学校内  
電話 080-1157-5347 FAX 048-645-1922  
E-Mail [saitamakenrengoukyouiku@jcom.ome.ne.jp](mailto:saitamakenrengoukyouiku@jcom.ome.ne.jp)

【別添1】

事務連絡  
令和7年 月 日

埼玉県連合教育研究会事務局長 宛

令和7年度配分金振込口座届出書の報告について

このことについて、下記の届出書により、報告します。

配分金振込口座届出書

令和7年 月 日

埼玉県連合教育研究会長 様

研究団体名 \_\_\_\_\_

配分金振込口座について下記のとおり報告します。

記

金融機関	金融機関名						店名
預金種目	普通						当座
口座番号						右詰で記入	
フリガナ							
口座名義							

※ 留意点

- ① 指定する口座は、研究団体名で使用している口座です。(個人口座でないこと)
- ② FAXでの送信も可ですが、送信後事務局まで電話連絡をお願いします。
- ③ 7月31日(木)以前に送金が必要な団体は、事務局・渡辺までご連絡ください。
- ④ 口座名義は、個人名ではなく、研究団体名の名義にしてください。

※ 希望される支給方法に○を付けてください。分割の場合は、金額を記入してください。

希望支給方法	① 一括 【 7月 】 【 10月 】	② 分割 【 7月 , 円 】 【 10月 , 円 】
--------	------------------------	--------------------------------

※ 事務局長・会計担当者の問い合わせ先

	氏名	勤務先学校名	電話番号
事務局長			
会計担当者			

※ 報告期限 7月17日(木)まで

## 令和6年度会計監査 指摘事項 等

令和7年3月5日（水）～7日（金）開催

### 1 収支決算報告書・予算書案について

- ① 8月中旬と翌年2月中旬に通帳記帳をし、「銀行利息」を必ず確認する。  
（昨年度、「銀行利息」を決算及び予算案に記載していないケースが目立った。）
- ② 物品購入や印刷製本等、支出における「証拠書類」として、  
4点セット「①見積書 ②納品書 ③請求書 ④領収書」を出品伝票に添付する
- ③ 基本的には、予算案の摘要欄に記載した内容の支出を再度お願いする。  
学校の施設等として扱われるような物資の購入はしない。
- ④ 「需用費」＋「補助対象外の費用」 が、配分金の20%以上になっている。削減を！  
※ 事前に20%以上になっていないか、数値を出しておく。
- ⑤ 物資高騰に基づく、印刷費の高騰等により、研究成果物刊行部数を減らしたり、ページ数を減らしたりすることが多くなっているが、来年度予算を立案するとき、計画的に考えて予算案を作成する。（会計担当者からの発想ではない。）
- ⑥ 印刷製本費に郵送費等を含む場合でも、科目「資料費」と「通信運搬費」を分けてもらえるように印刷会社に依頼する。予算書の科目の内容を精査する。
- ⑦ 10万円以上の物品の購入については、見積書（相見積もり）を2社以上からとり、添付する。
- ⑧ 弘済会からの助成金と本会の配分金を合せて支出する場合は、「摘要欄」にその旨を記載する。【記載例】＝「不足分は、弘済会助成金を充てる。」
- ⑨ 収支決算等の会長印は、私印ではない基本的に、会員には、旅費や謝金は出さない。
- ⑩ 校長先生等が指導者となったとしても、会員には、支出しない。  
【市町村教育研究会事務局と同じ立場の教科等団体の事務局】
- ⑪ 領収書に内訳等の記載を行う。「研究大会費」には、全国・関東大会だけでなく、総会、研究協議会、講演会等の費用を含むので、「大会」という文言にこだわることはない。
- ⑫ 研究事業の主体は、「研究調査」であり、「研究調査費」の中で事業をできるだけ行うようにする。
- ⑬ 全国大会や関東大会等への埼玉県代表としての発表者には旅費支給は可能である。
- ⑭ 学校を会場にする場合、「借料・損料」は発生しない。0円
- ⑮ ICT運用費には、プリンターのインク費や周辺機器の購入代を含む。  
特に、パソコン等の購入については、セキュリティソフト等の導入は必須とする。

そのための費用・修理費も含む。

- ⑯ 支出の科目の違い
  - ☛ 「研究大会費」か「研究調査費」か「刊行物」か
  - ☛ 「資料費」か「需用費」か「事務費」か「会議費」か
- ⑰ 郵便料金やサブスク料金の値上げへの対応 10月～ 通信運搬費の増額を  
ICT運用の増額を
- ⑱ 高等学校等の他の研究団体と経費を出し合う場合、その事由を伝票及び「摘要欄」に記載しておく。※「〇〇研究団体との共催事業として、会場費一部を負担」
- ⑲ 「摘要」の欄には、より具体的に内容を記入する。  
×「資料印刷代」 ☛ ○「研究集録印刷代 1,350部」

## 2 出金伝票等について

- ① 領収書には、品代だけでなく、単価と個数等を記載する。  
そして、「納品書」添付をしておく。
- ② 「図書カード」の領収書は、いくらのカートを何枚買ったのか。  
誰に渡したかの「内訳」を明確にしておく。  
※ 受領の証明が必要である。個人のものとならないか？  
※ 安易に「図書カード」の使用をしない。
- ③ 領収書・レシートへの宛名を必ず記載する。「埼玉県〇〇教育研究会 様」  
しかし、研究依頼校には、学校運営費として、研究謝礼を出せる。
- ④ 物品購入時に、ポイントの付く店での備品等の購入については、ポイントを付けずに購入する。（※ 個人のポイントとなる。）☛ **検討事項** **スマホ決済のポイント付与**
- ⑤ 旅費の支給金額については、事務職さんに旅費の計算をしてもらった「旅行命令簿の写し」を添付する。

## 3 令和7年度 本部会計予算について

- ① 本部基金（預金）が底をつき、本部事務局の設置を断念しするとともに、年度当初の事業遂行のためのつなぎ資金（約700万円）から、全国・関東大会の追加配分金や特別旅費（合計73万円）を繰り入れすることとなった。
- ② そのため、つなぎ資金（約700万円）が減少することが危惧される。
- ③ 昨年の繰越金130万円 ☛本年度 20万円に減
- ④ 本部事業では、地域教育研究団体の講演会補助や研究論文の入賞者への研究資料費があり、その年によって講演会開催市町班の数や、入賞者への研究資料費の支出額が読めず、支出が大きく左右される現状にある。

**依頼事項** ☛ 各団体の予算執行については、繰越金を残していただいてもよい。  
☛ つなぎ資金の確保のため